

項目		書名	2 東京書籍
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○自然の事物・現象について観察・実験を行い、探究的に学習する過程を通して、科学に関する知識と能力を身に付け、真理を探究しようとする態度の育成を図っている。</p> <p>○自然や真理を重んじ、他者の意見を尊重する態度の育成を図っている。また、日本の伝統的な産業・文化、科学研究との関連や学習内容と職業との関連を示し、将来の進路を考える手掛かりを示している。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○つまずきやすいと考えられる内容では、「例題→練習→確認」という問題演習場面を設定し、丁寧な解説を付け、つまずきの克服に配慮している。</p> <p>○単元毎に「チェック→学習内容の整理→確かめと応用」という構成で、振り返りが行いやすいように配慮し、定着度を高めるつくりになっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果例が示され、そこから導かれる考察・まとめの構成になっているため、自分の考えなどのまとめ方の指針にしやすい工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「学びを活かして考えよう」で、家庭や地域における生徒の主体的な活動を喚起している。また、インターネットなどを活用した学習方法を提示している。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○掲載する写真やコラム「科学でGO」、巻末「未来への宿題」などで、科学が身の回りにあふれていることや、科学の有用性を伝える工夫がある。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果を分析・解釈するために、結果・考察の視点を示して、事実を認識させ、根拠に基づいて考えさせるような工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験ごとにマークを赤文字で目立つように「注意」と記し、即座に紙面から理解できるように工夫されている。環境保全のコーナーも充実している。</p>	
	資料	<p>○巻頭折り込みの写真ページを始め、鮮明で新しい写真を掲載している。また、イラストや写真が詳細かつ大きな提示となっており、生徒が理解しやすい構成となっている。</p> <p>○「科学でGO」や「from japan」が充実しており、発展的な内容と実生活や実社会につながりをもたせている。</p>	
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシックの太文字を使用し見やすくなっている。</p> <p>○様々なマークを使い、わかりやすくするような配慮がある。特に「書く」マークや「話す」マークで、表現力や探究力の育成をねらっている。</p>	
総括		<p>○課題の探究過程が、「予想しよう」「調べよう」「学びを活かして考えよう」等、探究的な流れで構成されており、生徒の主体的な取り組みや言語活動を促すような配慮がなされている。また、「科学でGO!」など、豊富な写真やコラムにより、生徒に自然の不思議さや科学の楽しさなどについて伝わるように編修されている。</p>	

項目		書名	4 大日本図書
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○科学的に探究する過程を重視し、課題を解決する流れを明確にして、学習意欲を高める観察・実験の例を豊富にとりあげている。また知識・理解を確実に定着させるために解説文や図解を充実させている。</p> <p>○学習内容に関連する日常生活や職業との関連を資料で紹介し、理科への興味・関心を高め、「発展的な学習内容」を充実させて理解を深めることができるようにしている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○つまずきやすい計算では、例題と解答例を示して解説している。</p> <p>○単元末のまとめが充実しており、これまでに学習した基本的用語や単位を示して、振り返りが行いやすように配慮している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果例が示され、自分の結果と比較でき、「結果からわかること」を導く活動で思考力、判断力、表現力を養う工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「やってみよう」で、身のまわりの事物・現象について、生徒各自が探究できる配慮が多くなされている。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○学習内容にかかわる科学の話題を「トピック」、日常生活や社会との関連を「くらしの中の理科」として資料を多く掲載している。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の考察における視点を示して、どのように考察を行えばよいのかわかるような工夫がみられる。さらに、「話し合ってみよう」で言語活動を促す工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験で、特に安全面を十分に配慮した構成になっており、赤文字で大きく「注意」と記して、その説明も一目でわかるように色分けしている。</p>	
	資料	<p>○写真やイラスト、巻末資料など、発展的な内容を含め、豊富に掲載し、意欲と関心を高める工夫がみられる。</p> <p>○基礎技能を巻末に掲載し、常に確認することができるようになっている。</p> <p>○有効数字や単位の記号、グラフのかき方などについてまとめ、分析・解釈の力を高められるようにしている。</p>	
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシック体の太文字を使用して見やすくなっている。</p> <p>○「やってみよう」のコーナーが、その単元中にある各項目の学習終了後のタイミングで提示されており、学習の流れが円滑になる工夫がなされている。</p>	
総括		<p>○キャラクターの会話や「やってみよう」を通して、問題解決に取り組む生徒の主体的な活動を促し、身のまわりの事物・現象について、好奇心をもって探究できる編修となっている。また、実験器具の基本操作や、過年度のまとめを含め、学習のまとめが簡潔・丁寧に記載されており、学力向上のための配慮が多く盛り込まれた編修となっている。</p>	

項目	書名 <b>中学校 科学</b> 11 学校図書
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○生徒が主体的に 目的意識をもって自然の事物・現象について観察・実験を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度の育成とともに、それらについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うための十分な手立てがとられている。</p> <p>○基本的用語や単位を示して、振り返りが行いやすように配慮している。</p> <p>○科学技術と職業との関連を「科学を仕事に活かす」で紹介することで、科学は生活に密接に関連していることを意識できるようにしている。</p>
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b> ○「公式」は、覚えるだけでなく、どのように活用すればよいのか、具体的な例題をもとに、その解き方をわかりやすく解説している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○観察・実験の結果例が示され、そこから導かれる考察・まとめの構成になっているため、自分の考えなどのまとめ方の指針にしやすい工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○観察・実験において、操作の手順を流れ図で示し、生徒が主体的に取り組みやすいようにしている。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b> ○学習内容が日常生活のどのようなどころに応用されているのか「科学の窓」や「発展」として資料を多く掲載している。</p> <p>○学習した内容と関連した職業を紹介することで、科学は生活に密接に関連していることを理解できるようにしている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b> ○観察・実験の考察における視点を示して、どのように考察を行えばよいのかわかるような工夫がみられる。さらに、「話し合ってみよう」で言語活動を促す工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b> ○観察・実験で安全に対する配慮が必要な箇所は、赤字で大きく「注意」と記して、目に留まりやすい。その説明も記述している。</p>
資料	<p>○既習の基礎技能を巻末に掲載し、常に確認することができる。</p> <p>○実験器具の使用法やレポートの書き方などが巻末に掲載されていて、確認しやすくなっている。</p> <p>○誤差と有効数字や単位の記号、レポートの書き方などについてまとめ、分析・解釈の力を高められるようにしている。</p>
表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシック体の太文字を使用して見やすくなっている。文字や図の視認性についても配慮している。</p> <p>○左右どちらのページも、本文が左側に、補足が右側になるよう統一したレイアウトにしている。</p>
総括	<p>○章の初めには大きな写真とともに学習のねらいと、小学校での既習内容が示され、章末問題、単元末問題、総まとめ問題の充実や、キャラクターなどによる思考の手助けを図り、問題解決的な能力や科学的な思考力を高める工夫など、学力の向上のための配慮が盛り込まれている。また、写真やイラスト、巻末資料などを豊富に掲載し、意欲と関心を高める工夫が見られる。</p>

書名		17
項目	中学校 理科	教育出版
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○科学的に探求していく過程を重視し、関連する知識を身に付けて、課題や目的に対する真理を追究する態度を養うことができるような編修になっている。</p> <p>○身近な事象や学習した内容との関連から様々な科学技術を紹介し、職業観にもつなげている。</p> <p>○生命や環境とかかわる場面を多く設定し、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるようにしている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○章や節の振り返りには「要点をチェック!」、単元末には「要点と重要語句の整理」「思い出そう」のコーナーなど、既習事項の確認が充実している。</p> <p>○学習したことを定着させる「基礎・基本問題」→「活用・応用問題」→「総合問題」で学力の定着を図る工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の結果と考察の例を「わたしのレポート」として示し、自分の考えのまとめ方の指針にしやすい工夫がされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験において、操作の手順の流れ図で示している。「考えよう」「話し合おう」は、学習途上における思考過程の契機・機会として効果的である。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b></p> <p>○学習内容が日常生活のどのようなところに応用されているのか「ハローサイエンス」として資料を多く掲載し、関連が実感できるように工夫がされている。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験の考察における視点を示すとともに、「観察から」「実験から」を明示し、分析・解釈の力を高められるような工夫がみられる。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験を安全に実施することができるように、見やすい位置に5つのマークを使って注意を喚起しつつ、具体的な禁止・注意事項を記載している。</p>
	資料	<p>○既習の基礎技能を巻末に掲載し、常に確認することができる。</p> <p>○単位の仕組みや小数の計算、割合などについてまとめ、苦手とする生徒の多い計算を克服しやすいようにしている。</p> <p>○ダイナミックな写真や理解を促すイラスト、さらに、生活や歴史などに関連したコラムなどを豊富に掲載し、学習意欲と興味・関心を高める工夫をしている。</p>
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、朱色の太文字を使用するなど、誰にでも見やすい配色を考えた表記となっている。</p> <p>○文字や図が縦に読めるようなレイアウトとなっており、読みやすい。</p> <p>○様々なマークを使い、一目でわかるように配慮されている。</p>
総括	<p>○観察・実験においては、疑問をもつことから始まる探究過程を重視した構成となっている。結果までと、考察などのまとめのページを変え、科学的な見方や考え方の育成を図る配慮がなされている。また、写真やイラスト、コラム、巻末資料などを豊富に掲載し、意欲と関心を高める工夫がみられ、文字の大きさや配色、配列、図や写真のレイアウトが整然としており、判読しやすい編修となっている。</p>	

項目		書名	61 啓林館
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>未来へひろがるサイエンス</p>	
特色	内容	<p>○第2期教育振興基本計画が目指す「自立・協働・創造」の力を高めるために、必要な知識を習得・活用し、問題解決を図り、思考力・判断力・表現力を育成するための構成となっている。</p> <p>○科学・技術の利用や日本各地の環境の保全について考えるページを設定することで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b>                      ○各章の先頭と単元内に「振り返り」を設けており、既習事項が確認できる。                      ○密度や濃度の間違いやすい計算では、計算の仕方を紹介している。                      ○用語の確認では、青色シートを利用した繰り返し学習を可能にしている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b>                      ○観察・実験の結果と考察の例を「わたしのレポート」として示し、自分の考えのまとめ方の指針にしやすい工夫がされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b>                      ○観察・実験のページにゆとりがあり、操作の手順がわかりやすい。                      ○生徒の興味・関心を引く、おもしろい観察・実験やもの作りを掲載している。</p> <p><b>&lt;実社会・実生活との関連を図る工夫&gt;</b>                      ○学習内容と日常生活のどのようなところに関連があるのか「部活ラボ」や「先人の知恵袋」「はたらく人に聞いてみよう」として多く掲載され、科学と生活の関連を示している。</p> <p><b>&lt;科学的な見方や考え方を育成する工夫&gt;</b>                      ○観察・実験の結果と考察をまとめるポイントがわかりやすく示され、科学的な見方や考え方を育成する工夫がされている。</p> <p><b>&lt;安全・環境保全の重要性を認識する工夫&gt;</b>                      ○「実験チェックリスト」「気をつけたい実験操作」などの記載に十分なスペースを設け、安全面に配慮している。環境保全についても充実している。</p>	
	資料	<p>○科学の話題や興味深い活動を扱った資料を豊富に掲載している。</p> <p>○自力解決を図るために、キーワードの紹介、一部書き出し文や結びの文を示すなどの工夫をしている。</p> <p>○本冊の図や写真は見開きの両側と下部にまとめ、紙面上の情報と視線の動きを整理し、読みやすさを重視している。</p>	
	表記・表現	<p>○全学年とも本文は常体で記されている。重要語句には、ゴシックの太文字を使用して見やすくなっている。</p> <p>○様々なマークを使い、わかりやすくするような配慮がある。</p> <p>○青色シートを用いることにより、個々の学習に支障がでない配慮をしている。</p>	
総括		<p>○「本冊」と分冊にした「マイノート」には、基礎から応用までの演習問題の他、観察・実験の結果や考察も直接記入することができ、科学的な思考力や表現力などの学力の向上を図る工夫がなされている。また、演示実験が困難な実験写真や、詳細かつ大きなイラストなどが多く掲載され、生徒に科学に対する興味・関心をもたせ、科学的な見方・考え方を養う場面が随所に設定されている。</p>	